



養蚕之図

富岡製糸場と絹産業遺産群世界遺産登録10周年記念
藤岡市制施行70周年記念

いと 生糸をひいた女たち



工女勉強之図（群馬県立歴史博物館蔵）

第6回 セカイト講演会

主催：群馬県立世界遺産センター
共催：藤岡市・藤岡市教育委員会
後援：(公財)藤岡市文化振興事業団

令和6年
9月15日(日)
13:30～16:30
(受付は13:00～)

内容

講演1 13:40～14:40

「器械製糸場における教婦と女工教育－富岡製糸場を中心に－」

講師：差波亜紀子氏（日本女子大学文学部教授）

講演2 14:50～15:50

「座繰製糸と女性－どうやってどのくらい稼いだか－」

講師：松浦利隆氏（TICCIH(国際産業遺産保存委員会)日本代表）

質疑応答 16:00～

定員

200名(無料・要事前申込)

会場

藤岡市みかぼみらい館
(〒375-0024 藤岡市藤岡2728)

問合先

群馬県立世界遺産センター(TEL:0274-67-7821)

藤岡市教育委員会文化財保護課(TEL:0274-23-5997)

いと生糸をひいた女たち

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の登録10周年及び藤岡市制70周年を記念して、「生糸(いと)をひいた女たち」をテーマとした講演会を開催します。日本の近代化を支えた養蚕と製糸業を担った女性たちについて、製糸工場で生糸をひいた女性たちと家で生糸をひいた女性たちの比較等から絹産業を支えた女性たちの働き方や活躍について迫ります。

講師プロフィール

差波垂紀子 氏 日本女子大学文学部教授

東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得済み退学。博士(文学)。専門は日本近現代史。近著「女性製糸指導者教育の始まり：開設当初の東京蚕業講習所製糸講習科」(『史艸』第64号、2023年)、「平塚らいてうの結婚観と日本女子大学校の教育」(吉良芳恵編著『成瀬仁蔵と日本女子大学校の時代』日本経済評論社、2021年)、「富岡製糸場における「教婦」」(『富岡製糸場女性労働環境等研究委員会報告書』富岡市、2020年)。

松浦利隆 氏 TICCIH(国際産業遺産保存委員会)日本代表

筑波大学比較文化学類卒業、同修士課程教育研究科修了、総合研究大学院大学文化科学研究科後期博士課程修了。群馬県立高等学校教諭、群馬県教育委員会職員、群馬県企画部世界遺産推進課長、群馬県立女子大学群馬学センター教授等を経て、現在、TICCIH(国際産業遺産保存委員会)日本代表。専門は日本近代史、産業考古学。群馬県世界遺産専門委員会委員、国際記念物遺跡会議(ICOMOS)日本委員会会員。主な著書に『在来技術改良の支えた近代化-富岡製糸場のパラドックスを超えて』(岩田書院、2006年)など。

会場周辺マップ



- 上信越自動車道・藤岡ICよりお車で約8分
- 関越自動車道・本郷ICよりお車で約20分
- JR八高線・群馬藤岡駅より路線バス(めぐるん)にてみかぼみらい館第3駐車場バス停で下車
- JR高崎線・新町駅より路線バス(奥多野線)にて本郷バス停で下車、徒歩約15分

申込方法

①②③のいずれかの方法で9月13日(金)までにお申込みください。参加人数は、申込み1件につき4名までです。

- ①ぐんま電子申請受付システム
世界遺産センターホームページまたは2次元コードからお申込みください。



- ②電話
下記番号に電話し「氏名」「電話番号」「人数」をお伝えください。

TEL: 0274-23-5997

(藤岡市教育委員会文化財保護課)

- ③ファクス
「氏名」「電話番号」「人数」を明記し、下記番号に送信してください。

FAX: 0274-22-6999

(藤岡市教育委員会文化財保護課)